

5-1

主担当課／企画政策課  
関係課／危機管理課，総務課，商工観光課

## 情報・プロモーションの推進

### 基本方針

市民の利便性向上，来訪者等の拡大に向けて，公式ウェブサイト等の情報発信力の向上を図るとともに，市内の情報基盤の整備を進めます。また，市の情報システムのセキュリティを高め，安心・安全なネットワーク環境を実現します。

### 現況と課題

- ①公式ウェブサイトは情報量が多く複雑化する傾向にあることから，閲覧者がほしい情報にたどり着くことが困難な状況となっています。
- ②一部観光拠点には公衆無線LAN（Wi-Fi）が導入されているものの，防災拠点を含めた必要箇所全てに整備が進んでいるとはいえない状況であり，情報基盤の更なる整備が求められています。
- ③高度化・巧妙化するサイバー攻撃等による機密情報の窃取等の被害を未然に防ぐため，職員の研修も含めたセキュリティの向上等による，安心・安全なネットワーク環境の実現が求められています。

### 対策

- ①公式ウェブサイトについて，情報を体系的に整理し，SNS等を活用したわかりやすい情報発信を行います。また，オープンデータの公開にも取り組みます。
- ②観光や防災の拠点等における来訪者や住民の情報収集等の利便性を高めるため，観光拠点及び防災拠点等におけるWi-Fiの整備を行います。
- ③市民に対する行政サービスの充実を前提として，行政事務の効率化を図るとともに，情報資産の機密性等を維持することを考慮した業務システムの整備・更新と適切な運用を図ります。また，サイバー攻撃に関する知識の習得や情報漏えいの防止に向けて，職員のセキュリティ研修を行います。

| 総合指標                        | 単位  | 実績値    | 実績見込   | 目標値    |        |        |
|-----------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
|                             |     | 2016年  | 2017年  | 2018年  | 2021年  | 2025年  |
| 公式ウェブサイトアクセス数<br>(1か月当たり平均) | 件/月 | 40,353 | 43,000 | 45,000 | 48,000 | 50,000 |

## 達成目標 1 情報発信の強化（※①）

| 指標           | 単位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|--------------|----|-------|-------|-------|-------|
|              |    | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| オープンデータの公開件数 | 件  | 12    | 20    | 30    | 60    |

### 目標達成のための取組概要

◆ 2017年度にリニューアルした公式ウェブサイトをはじめ、SNSを積極的に活用し、市民はもちろん、市外からの観光や移住情報等のニーズにも応える、わかりやすく魅力的な情報発信を行います。

◆ 岡山県や高梁川流域連盟とも連携しながら、利用者にとって有益な情報の公開に努めます。

#### 主要事業

- ◆ 公式ウェブサイトの運用・整備
- ◆ オープンデータの公開

## 達成目標 2 公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備促進（※②）

| 指標              | 単位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|-----------------|----|-------|-------|-------|-------|
|                 |    | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| Wi-Fiスポットの整備箇所数 | 箇所 | 13    | 14    | 14    | 17    |

### 目標達成のための取組概要

◆ 観光や防災の拠点等における来訪者や住民の情報収集等の利便性を高めるため、観光拠点及び防災拠点等におけるWi-Fi環境の整備を行います。

#### 主要事業

- ◆ Wi-Fi環境の整備・拡充の促進

## 達成目標 3 情報セキュリティの向上（※③）

| 指標              | 単位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|-----------------|----|-------|-------|-------|-------|
|                 |    | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 市職員のセキュリティ研修終了率 | %  | 90.7  | 95.0  | 95.5  | 97.0  |

### 目標達成のための取組概要

◆ セキュリティ対策の充実や職員の活用能力向上に努めます。

◆ 情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することを考慮した業務システムの整備・更新と適切な運用を図ります。

#### 主要事業

- ◆ セキュリティ研修
- ◆ 業務システムの運用・整備

## 5-2

主担当課／財政課

## 健全な財政運営

## 基本方針

将来にわたって安定した市政運営を行い、将来世代に大きな財政負担を残さないように、市全体の負債額を適正な水準で維持するとともに、基金の確保、歳入・歳出状況を踏まえた事業の見直し等による、健全な財政運営を目指します。

## 現況と課題

- ①これまで笠岡市では、債務の縮減を中心に財政健全化に積極的に取り組んでおり、土地開発公社の抜本的な経営健全化を進める等、市全体の負債の大幅な縮減を図り、財政指標においても順調に改善が進んでいます。一方で、防災関連事業の積極的な実施や給食センターの建設事業等により、市債残高は増加傾向に転じており、財政指標も今後は悪化が予想されます。
- ②本市は非合併団体であるため、地方交付税等の財政措置が合併団体と比較して相対的に縮減されており、財政調整基金は合併団体に比べると低い水準となっています。今後、社会保障給付費やインフラ等公共施設の維持管理・更新経費の増加が見込まれる中、市債に過度に依存することなく年度間の財政負担を平準化するために、適正な基金残高を確保しておく必要があります。
- ③人口減少が進む中、歳出縮減の取組と人口減少対策としての積極的な投資を同時に進める必要があり、バランス感を持った財政運営が求められています。

## 対策

- ①負債の適正な水準を維持するために、市債発行の抑制や繰上償還を継続します。
- ②財政調整基金や公共施設整備費引当基金等の積立を行います。
- ③新規事業の立ち上げに当たっては、財源の確保又は既存事業の廃止を基本とし、継続事業についても、効果必要性等を検証し、歳出縮減に向けた見直しを進めます。

| 総合指標    | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |       |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
|         |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 | 2025年 |
| 実質公債費比率 | %   | 5.8   | 5.6   | 6.5   | 6.5   | 6.5   |
| 将来負担比率  | %   | 67.5  | 80.6  | 80.0  | 80.0  | 80.0  |
| 経常収支比率  | %   | 95.3  | 95.9  | 96.0  | 96.0  | 96.0  |

達成目標 1 負債額の適正化（※①）

| 指 標         | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|             |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 普通会計建設地方債残高 | 億円  | 130.9 | 151.0 | 153.1 | 159.1 |
| 市全体の建設地方債残高 | 億円  | 274.0 | 281.9 | 279.3 | 277.6 |

目標達成のための取組概要

- ◆単年度の建設地方債発行額に上限を設けるとともに借入金の繰上償還を行い、市債残高の抑制を図ります。

達成目標 2 適正な基金残高の確保（※②）

| 指 標           | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|               |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 財政調整基金残高      | 億円  | 10.3  | 8.5   | 9.5   | 10.8  |
| 公共施設整備費引当基金残高 | 億円  | 0.2   | 0.3   | 0.5   | 0.9   |

目標達成のための取組概要

- ◆財政調整基金の積立目標額を20億円として、年次的に積み増しを行います。
- ◆大規模ハード事業、長寿命化事業に備えて、公共施設整備費引当基金の積み増しを行います。

達成目標 3 歳出の縮減（※③）

| 指 標                 | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|---------------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|                     |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 事業の廃止・縮小による効果額      | 百万円 | 2.8   | 2.3   | 5.0   | 20.0  |
| 経常経費充当一般財源額（退職手当除く） | 億円  | 124.0 | 124.0 | 124.0 | 124.0 |

目標達成のための取組概要

- ◆補助金等事業の効果を検証し、担当課にヒアリングを行いながら、事業の廃止・縮小を進め歳出削減を図ります。
- ◆数値目標を設定して、内部管理経費の縮減を図ります。

主な関連計画

| 計 画 名        | 策定（改訂）年月 | 計画期間 |
|--------------|----------|------|
| 岡岡市財政運営適正化計画 | 2017年9月  | 11年  |

# 財源の確保

## 基本方針

将来にわたって安定的な財源を確保するため、公平公正な賦課と税収の確保、市の公有財産の適正な管理とともに、時代状況を踏まえた自主財源確保の実現を目指します。

### 現況と課題

- ①人口減少に伴い、市税等の一般財源も減少傾向にある中で、様々な人口減少対策に関わる取組等を展開するための自主財源の確保が求められています。また、未利用地の積極的な処分や有効活用とともに、公共施設等の使用料についても、適正なコストを把握した上で見直しを図る必要があります。
- ②ふるさと納税については、国のふるさと納税の見直し（規制）の動向を踏まえながら、寄附額の更なる増額に向けて取り組む必要があります。
- ③市税の賦課漏れ及び賦課誤りが発生している状況を踏まえ、確実な収納を図るため、未申告者の解消及び課税客体の適正な把握が必要です。なお、市税の収納率については向上しており、今後も継続した取組強化が求められます。
- ④不良債権を抱えている部署がある中で、全庁的に適正な債権管理と確実な収納対策が必要です。

### 対策

- ①国等の補助金・助成金の積極的な活用やクラウドファンディング※、広告収入等による自主財源を検討・確保します。また、未利用地の掘り起こしに努めるとともに、こうした未利用地や用途廃止した行政財産について、有効活用の早期実現を図るため将来的な利活用の方策を検討し、積極的な処分、貸付を図ります。
- ②ふるさと納税のポイント制の活用や新たなポータルサイトへの登録及び記念品の拡充を検討する等、スムーズに安心して寄附できる環境を整備します。また、本市のふるさと納税のPR強化、リピーターの増加へ向けた取組を推進します。
- ③市税の未申告者の実態や課税客体の把握を確実なものとするため、現地調査をはじめあらゆる手段により情報の収集を図ります。また、未納者の個々の経済状況を把握し、岡山県市町村税整理組合、岡山県滞納整理推進機構等との連携を図り、滞納処分を強化して収納率向上に努めます。
- ④笠岡市収納対策本部会議等を開催し、債権回収の調整を図ります。

※クラウドファンディングとは、インターネット等を介して不特定多数の個人から寄附等の形で資金を調達する仕組み

| 総合指標             | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |       |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
|                  |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 | 2025年 |
| 自主財源の確保          | 百万円 | 217   | 430   | 431   | 431   | 431   |
| 市県民税等の未申告件数      | 件/年 | 140   | 135   | 130   | 115   | 95    |
| 市税収納率(国民健康保険税除く) | %   | 96.16 | 96.21 | 96.26 | 96.41 | 96.61 |
| 債権未収金額           | 百万円 | 1,120 | 846   | 637   | 474   | 348   |

## 達成目標 1 自主財源の確保と強化 (※①②)

| 指 標          | 単 位 | 実績値    | 実績見込   | 目標値    |        |
|--------------|-----|--------|--------|--------|--------|
|              |     | 2016年  | 2017年  | 2018年  | 2021年  |
| 新たな財源の確保     | 百万円 | -      | 50     | 50     | 50     |
| 土地売払収入       | 百万円 | 25     | 74     | 20     | 20     |
| 土地建物貸付収入     | 百万円 | 29     | 36     | 43     | 43     |
| ふるさと笠岡思民寄附件数 | 件/年 | 21,437 | 66,800 | 66,800 | 66,800 |
| ふるさと笠岡思民寄附金額 | 百万円 | 329    | 900    | 900    | 900    |

### 目標達成のための取組概要

- ◆新規事業の立ち上げに当たっては、必ず財源確保を検討した上で実施します。
- ◆クラウドファンディング等の新たな財源確保の仕組みを検討・導入します。
- ◆広告料収入の更なる拡充の手法を検討・導入します。
- ◆使用料・手数料等の見直しを行います。
- ◆既存事業等についても、該当となる国庫補助制度等がないか、情報収集に努めます。
- ◆市の公有財産として保有する必要性のない財産の民間への売却処分とともに、供用予定のない財産の民間等への貸付による有効活用を図ります。
- ◆処分可能財産の掘り起こしを行い、公有財産活用検討チームを中心に処分に向けた検討を行います。
- ◆一般社団法人岡山県宅地建物取引業協会との市有地処分の媒介に関する協定に基づき、民間活力を活用した市有地処分の円滑な推進を図ります。
- ◆ふるさと納税のポイント制の活用や寄附フォームの見直しを行い、寄附者が寄附しやすい環境を整備します。
- ◆新たな記念品の発掘や記念品のお届けプラン等の検討を行い、寄附者にとって魅力ある記念品を拡充します。
- ◆新たなふるさと納税ポータルサイトへの加入や情報発信方法等の検討を行い、寄附の増加に努めます。

#### 主要事業

- ◆財源の検討、情報収集
- ◆公有財産活用検討チームを中心とした処分可能財産の検討
- ◆市有地売却促進助成事業
- ◆分譲地紹介者奨励金事業
- ◆ふるさと納税のポイント制の活用
- ◆ふるさと納税の新たな記念品の発掘等記念品の拡充
- ◆ふるさと納税のPRの推進

## 達成目標 2 適正な市税収納の推進（※③）

| 指標                | 単位  | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|-------------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|                   |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 市県民税等の未申告件数       | 件/年 | 140   | 135   | 130   | 115   |
| 償却資産（固定資産税）の未申告件数 | 件/年 | 245   | 284   | 240   | 220   |
| 市税収納率（国民健康保険税除く）  | %   | 96.16 | 96.21 | 96.26 | 96.41 |
| 国民健康保険税収納率        | %   | 79.64 | 79.69 | 79.69 | 79.74 |

### 目標達成のための取組概要

- ◆未申告者への催告通知，電話による呼び出しや臨戸訪問を徹底します。
- ◆現地調査，聞き取り調査，追跡調査等による課税客体の適正な把握を行います。
- ◆積極的な情報収集により納税義務者を確定し，公示送達の解消を図ります。
- ◆岡山県市町村税整理組合，岡山県滞納整理推進機構等との連携等を進めるとともに，未納者への文書送付や電話催告を実施し，滞納処分滞納整理を強化します。
- ◆コンビニ収納の利用促進，口座振替キャンペーンを実施します。
- ◆差押え物件等について，岡山県市町村合同公売会やインターネット公売により適正な処分を進めます。

#### 主要事業

- ◆課税漏れの解消
- ◆公示送達の解消
- ◆口座振替キャンペーン
- ◆岡山県市町村合同公売会

## 達成目標 3 債権を含めた市有財産の適正管理（※④）

| 指標     | 単位  | 実績値   | 実績見込 | 目標値 |     |
|--------|-----|-------|------|-----|-----|
|        |     | H28   | H29  | H30 | H37 |
| 債権未収金額 | 百万円 | 1,120 | 846  | 637 | 474 |

### 目標達成のための取組概要

- ◆笠岡市収納対策本部会議及び笠岡市収納対策本部ワーキンググループ会議を開催します。
- ◆毎年度，債権担当課ごとの長期延滞債権に係る徴収計画を策定し，適切な債権管理を行います。
- ◆笠岡市債権管理条例に基づき，徴収の見込みのない不良債権について，債権管理検討委員会にて審議し，適正な処理を行います。
- ◆専門研修等で人材育成を行い，債権管理のスキルアップを図ります。

#### 主な関連計画

| 計画名              | 策定（改訂）年月 | 計画期間 |
|------------------|----------|------|
| 笠岡市土地開発公社経営健全化計画 | 2013年6月  | 5年   |
| 笠岡市財政運営適正化計画     | 2017年9月  | 11年  |

## 5-4

主担当課／企画政策課  
関係課／総務課, 人事課, 財政課

# 計画管理

## 基本方針

総合計画の目標達成に向け、限られた行政資源の有効活用と効率的な行政運営を実践します。

### 現況と課題

- ①行政サービスに対する市民ニーズが多様化・高度化する中で、行政評価制度を活用して指標をもとに事業効果の検証や進行管理を行うことで、見直しや改善につなげていく必要があります。
- ②厳しい社会経済情勢にあって、行政運営の資源（人・物・資本）は制限されており、限られた予算、人員を選択と集中により有効に活用していくため、行政改革を着実に推進する必要があります。
- ③市が保有する施設の多くは高度経済成長期に整備されており、今後、老朽化による建替等が一時集中することが予想されます。人口減少や人口構造の変化等により公共施設等の利用需要の変化が予想される中で、長期的な視点から施設の長寿命化、統廃合、更新について検討を行う必要があります。
- ④地方分権の進展をはじめとする情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するために、職員の更なる意識改革や資質の向上が求められます。

### 対策

- ①行政評価制度の運用を通じて、指標実現に向け職員自らが従来の業務を見直し、自ら課題を見つけ、改善につなげていくPDCAサイクルを効率的に回していきます。
- ②行政改革を一層推進することで、単に経費の削減だけでなく、質の高い行政サービスの実現を図ります。
- ③笠岡市公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した公共施設の予防保全による長寿命化、統廃合や機能の複合化により総量の抑制を図り、その更新費用の縮減と平準化を図ります。
- ④人材育成基本方針のもと、能力開発により職員の個の能力を高めるとともに、階層別等の研修を強化することで組織力を高めます。

| 総合指標                         | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |       |
|------------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
|                              |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 | 2025年 |
| 施策評価の総合評価がA（計画どおり進行している）の施策数 | 施策  | 1     | 2     | 2     | 3     | 5     |

### 達成目標 1 行政評価の有効活用（※①）

| 指 標                                      | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |                 |
|--|-----|-------|-------|-------|-----------------|
|  |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年           |
| 「市民の意見や提案が市政に反映されている」と感じている市民の割合（市民意識調査） | %   | 11.7  | -     | 14.0  | 15.0<br>(2020年) |

#### 目標達成のための取組概要

- ◆実施している施策や事務事業について、外部委員を含めた委員による施策評価を実施して、事業効果の検証や進行管理を行います。
- ◆市民意識調査により、市民ニーズを把握し、施策や事務事業、仕事のやり方を常に改善していきます。
- ◆施策評価結果を市政報告書としてまとめます。

#### 主要事業

- ◆施策評価
- ◆市政報告書の作成
- ◆市民意識調査

### 達成目標 2 行政改革の推進（※②）

| 指 標        | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|            |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 行財政改革年間効果額 | 億円  | 4.9   | 3.0   | 5.0   | 5.0   |

#### 目標達成のための取組概要

- ◆行政改革大綱に基づき作成した実施計画を計画的に推進します
- ◆行政改革大綱及び実施計画の推進と進行管理

#### 主要事業

- ◆行政改革大綱及び実施計画の推進と進行管理

達成目標 3 適正な公共施設の維持・管理（※③）

| 指 標         | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値     |         |
|-------------|-----|-------|-------|---------|---------|
|             |     | 2016年 | 2017年 | 2018年   | 2021年   |
| ハコモノ施設総量の増減 | m   | △ 826 | 4,254 | △ 1,669 | △ 1,669 |

目標達成のための取組概要

- ◆ 財政状況に応じて施設総量を縮減するとともに新規整備を抑制し、施設の複合化と運営の効率化を図ります。
- ◆ 総合的に市民サービスの維持・向上を図るため、PPP等の事業手法を用いた施設運営への民間活力の導入に向けた検討を行います。

主要事業

- ◆ ハコモノ施設の建替、老朽化等による施設の除却、周辺施設との複合化等の手法を検討
- ◆ PPP等による民間活力活用の検討

達成目標 4 職員の育成（※④）

| 指 標          | 単 位 | 実績値   | 実績見込  | 目標値   |       |
|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|
|              |     | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2021年 |
| 階層別必須研修の実施種類 | 種類  | 7     | 8     | 9     | 12    |

目標達成のための取組概要

- ◆ 人材育成基本方針のもと、新規採用職員の研修や階層別等の研修を強化することで組織力を高めます。
- ◆ 業務内容に応じた各種職員の配置を含め、適材適所の配置等により業務の効率化を図ります。
- ◆ 人事評価システムに基づき、職員の能力や実績を適正に評価します。

主要事業

- ◆ 人事評価システムの有効活用
- ◆ 定員管理の適正化

主な関連計画

| 計 画 名          | 策定（改訂）年月          | 計画期間  |
|----------------|-------------------|-------|
| 人材育成基本方針       | 2013年3月           | －     |
| 笠岡市特定事業主行動計画   | 2016年3月           | 5年    |
| 笠岡市公共施設等総合管理計画 | 2016年6月           | 10年以上 |
| 第8次行政改革大綱      | 2018年3月           | 4年    |
| 定員適正化計画        | 2018年9月<br>(策定予定) | 4年    |